

ゆうこのおひさま通信



～だれもが笑顔でくらするために～



一般質問にて

群馬県議会議員 大林裕子

4月の統一地方選では、皆様の温かく心強いご支援をいただき、2期目をスタートすることができました。大変ありがとうございました。心から感謝申し上げます。気持ち新たに、「赤ちゃんからお年寄り、障害のある方々、だれもが笑顔になるため」に、さらに努めて参ります。どうぞ、これまで同様、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

令和5年第2回定例会（5月17日～6月13日）が開かれました。

物価高騰の影響を価格転嫁できない、保育園等、私立学校、医療、介護、福祉施設等への支援、飼料高騰の影響を受ける畜産農家への支援など約66億8000万円の補正額を計上し、計8263億8000万円の予算額となりました。また健康福祉常任委員会では、「国民皆歯科検診の実現を求める意見書」が提出され、可決されました。

所属委員会等も新たに生まれ、私は「健康福祉常任委員会」、「少子化対策・ウェルビーイングに関する特別委員会」に所属となりました。さらに本議会では、5月29日に一般質問の機会をいただきました。傍聴に来ていただいたり、

テレビ等を視聴していただいたりと応援ありがとうございました。今回の通信は一般質問を中心に報告させていただきます。



一般質問項目

1 子ども達をめぐる諸課題について

- (1) 移動型バリアフリートイレの導入について (健康福祉部長)
- (2) 小児医療センターの患者サービスの充実について (病院局長)
- (3) 困難を抱える妊産婦等への支援について (生活こども部長)
- (4) 幼保小の架け橋プログラムについて (教育長)
- (5) 教員の多忙化解消に向けた取組について (教育長)

2 群馬県農業の振興について

- (1) 中山間地域の農業について (知事)
- (2) 中山間地域の特性を生かした米づくりについて (農政部長)
- (3) 群馬県の小麦生産振興について (農政部長)

3 交通弱者の移動手段の確保について

- (1) 交通弱者の移動手段確保に対する県の考え方について (DX推進監)
- (2) デマンド交通導入を検討する市町村への支援について (DX推進監)

4 吉岡町大松交差点付近の交通混雑について (県土整備部長)

1 子ども達をめぐる諸問題について

Q1 障害児・者や高齢者が気軽に外出し、社会参加するための方策の一つとしての**移動型バリアフリートイレ**※1の導入について県の考えは。

A 移動型バリアフリートイレは障害者等の社会参加をさらに促進できる、有用性の高いものであり、県や市町村、民間事業者も含め、導入が進む方策を考えたい。

要望 県が導入することで、市町村、事業者にも貸し出し、利用を図ることができる。ぜひ検討願いたい。



移動型バリアフリートイレ

Q2 **小児医療センターの建て替え**※2完了までの間、今ある施設への過度な支出を抑えながらも、患者サービスを図るべきと考えるが。

A 現在、ユニバーサルシートの設置を行い、売店の拡張の予定もしている。建て替え再整備に向けて、全ての要望に応えることは難しいが、患者さんの声を聴きながら必要な患者サービスを行っていく。

※2 小児医療センターの建て替え
令和5年1月、建て替え再整備を決定。老朽化と周産期の母親への医療提供の充実化を図る。建て替えまでには、概ね10年程かかる。

※1 移動型バリアフリートイレ
車イス利用者にむけたバリアフリートイレ。多機能トイレをけん引により自由に移動し設置できる。



子ども達をめぐる諸問題について

Q3 困難を抱える妊産婦等への支援の状況は。また様々な問題を抱えた妊婦が、産婦人科医に未受診の場合、県では初回の診察費用を助成している。が、十分に利用されていない状況である。この制度のより一層の周知が必要ではないか。

A 主に県助産師会に委託している「**妊娠SOS**」※1で対応。相談、病院等への同行支援など行っている。産科医初診料の補助については、市町村職員や児童相談所を訪問し、周知していく。

※1 **ぐんま妊娠SOS**
予期しない妊娠などの悩みや女性の健康についての相談窓口

要望 家族等の支援が受けられない妊産婦への、居住を含めた支援の場を設け、一人でも安心して出産できる環境整備をお願いしたい。

Q4 国が推進する、**幼保小の「架け橋プログラム」**※2への取り組みの現状と今後の方針は。

A 「架け橋期」の学びの充実をめざし、幼児教育施設と学校の連携を深められるよう市町村教委への情報提供を進める。

※2 **幼保小の「架け橋プログラム」**
子どもに関わる大人が立場をこえて連携し、年長児～小学1年生の2年間にひとりひとりの多様性を配慮した上で、学びや生活の基盤を育むことを目指す

Q5 教員のなり手不足の一因である、教員の多忙化解消に対する県の取り組みは。

A 県教委でも最重要課題としている。昨年12月、具体的な業務・行事の見直しの指針となるよう、また地域差・学校差がなく業務低減が行えるよう「**提言R5**」※3を発出した。多くの若い方が教員を目指してほしい。

※3 **提言R5**
令和4年12月、「教職員の多忙化解消に向けた協議会」において、学校の業務や行事について「廃止・縮小・ICT化」の視点でとりまとめられた。全国でもはじめてのこと。

要望 端末機器の年度更新作業についても、年度初めの多忙を極める時期であり、教員ではなく、事業者へ委託するよう提言をお願いしたい。

2 群馬県農業の振興について

Q1 中山間地域の農業について、知事の考えは。

A 少量多品目の生産と販売、オーガニックビレッジの構想を推進していく。中山間地域であっても、直接支払交付の指定になっていない地域もあるが、このような地域には目配りをしていきたい。



要望 傾斜地であることから、農地の集約や大規模化も不利であり、後継者も減少している中山間地域への特段の配慮をお願いしたい。

Q2 中山間地域の特性を生かした米づくりへの取り組みと今後の方針を伺いたい。

A 地域の特色を生かしたブランド米や、担い手不足の解消に向けて、農作業の受託組織や若手農業者の育成に取り組む。

要望 農地の基盤整備の大変さから耕作放棄がおこる。農地と農家を守っていただきたい。

Q3 小麦の生産振興と品質向上への取り組みは。

A 令和6年度から増産予定。担い手の集落営農組織や認定農業者に農地の集積・集約化による低コスト化や、農地情報等のデジタル化を図り、生産量と品質の確保をしていきたい。

要望 世界的な情勢からも小麦の自給体制が必要である。県産小麦のうどん、パスタ、パンなどの製造も活発化している。さらなる生産振興を願いたい。



3 交通弱者の移動手段の確保について

Q1 運転免許を返納した高齢者など、交通弱者の移動手段の確保について県の取り組みは。**デマンド交通**※4の導入を考える市町村への支援は。

A 県は、市町村の多様な移動手段や最適化への情報提供や助言を行っている。昨年は13市町村から相談を受けデマンド交通等の助言をした。デマンド交通の導入への市町村に対しては、地域にあった整備や国庫補助活用の情報提供をしている。県にまずは相談して欲しい。

※4 **デマンド交通**
決まった時間とルートで運行するバスや電車とはちがい、予約を入れて指定された時間と場所へ送迎する交通サービス。

4 吉岡町大松交差点付近の交通混雑について

Q1 大規模店舗の出店により、吉岡町大松交差点付近のさらなる交通混雑が懸念されるが、県の対応状況は。

A 昨年10月に、開発事業者・吉岡町・県と協議し、入口への誘導に必要な人員を事業者が講じること、さらに混雑が生じたときは県道側からの入り口を封鎖するなどの対策を考えた。これからも注視し、対応したい。

皆様の声を県政に！気軽に声をかけて下さい。

発行者：自由民主党 大林 裕子

〒370-3607 北群馬郡吉岡町小倉甲91 TEL.0279-54-3745 FAX.0279-54-0593

公式HP

Facebook



UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。